

ひとりスタンディングで 新婦人と出会い入会

福井県本部

「戦争反対」の声が高まるなか、各地で
うまれる次世代との出会い。福井での経験
を紹介しよう。

駅近くに立つ一人の女性

これまで中央本部から
のニュースなどで
「次世代がメールで入
会してくる」という話
を聞いても、保守的な
出来事がありました。



福井駅前でスタンディング

全国の活動が刺激に

NO「軍拡反対」と
書き、日本国憲法の本
を手にしていました。
会員が声をかけると、
「SNSで新婦人は知
っているけれど、福井
の活動は知りませんで
した。19日に東京へ行
つて、国会前行動に参
加してみようと思つて
います」と話しました。
会員は持つていた9条
バッジをその場で手渡
し、「ぜひ新婦人を見
索してみてください」と
伝えて別れました。

3月14
日、福井駅
近くで行わ
れた支部会
議の後、一
人でスタン
ディングを
している若
い女性に出
会いました
。その女
性はスケッ
チブックに
「高市政権
その数日後、県本部
にその女性からメール
が届きました。「SN
Sなどで全国の新婦人
の反核・反戦の活動に
刺激を受け、自分も何
かしたいと、もどかし
く感じていました。し
かし今は、一人で駅前
に立つことしかでき
ず、無力感を感じてい
ます」と、率直な思いが
つづられていました。
一人でスタンディン
グしていたのは野村あ
かりさん(仮名・30
代)。野村さんは「参加
しなければ後悔する」
との思いで新幹線に乗
り、国会前行動に参加
しました。一万人以上
で埋め尽くされた現場
に圧倒されたながらも、
「これまで活動を続け
てきてくれた皆さんが
いるからこそ、自分も
ここに立っていると美
感した」と話します。



「憲法まもれ」と声をあげる
人たち(3月19日、国会前)

今こそ声をあげる！

その後もメールで新
婦人しんぶんや声明な
どを届けていました
が、連絡が途絶えるな
ど心配していたところ
に「日米会談や報道に
ショックを受けた」と
の返信が。そして3月
24日朝、「新婦人に入
会します。仕事や生活
と両立しながら、でき
る範囲で行動してい
きたい」というメールが
届きました。現状への
危機感と、「今こそ声
を上げなければ、どう
しようもない事態に突
き進んでしまう」との
強い思いが、入会を
決意させたと思いま
す。

野村さんは、自ら用
意した原稿をもとに新
婦人の理念や平和、ジ
ェンダー平等への思
い、国会情勢について、
自分の言葉でしっかり
とハンドマイクで発言
し、コールもしました。
この日、入会申し込み
書を書いたばかりとは
思えない発言に、他の
参加者も感動していま
した。

新たにスタートした改憲反対 署名を一気に広げましょう

新婦人は「戦争とめる！
憲法まもれ！」と打ち出し
た第197回中央委員会の
決定で、この改憲反対署名を、核
兵器禁止条約参加を求める署名と
ともに平和の2署名に位置づけま
した。決定の実践として、一人ひと
りの願いを聞く対話をすすめ、
署名を一気に広げましょう。

戦後最大の憲法の危機に、新婦
人も参加する憲法共同センターや
九条の会など6団体の呼びかけ
で、「私たちは戦争につながる憲法
改憲に反対します―憲法9条改憲
に反対する請願署名」(改憲反対
署名)がスタートしました。

自民党が衆議院で単独で
3分の2の議席を占め、改
憲派の議員が多数となり、
高市首相は「改憲案発議の早期実
現を表明しています。その最大の
ねらいは、戦争放棄と交戦権否認、
武力の不保持を明記した憲法9条
を定めることです。9条はどのほ
ど踏みじられても、トランプ大

統領が求めるホルムズ海峡への自
衛隊派遣を「できない」と政府に
言わせる力を持っています。9条
を守り、改憲案を出させない強固
な世論をつくるため、9月の臨時
国会での署名提出をめざします。
応じた行動がとりくまれ、どこで
も「デモは初めて」という女性や
若者が「戦争反対」「改憲反対」
と声をあげ、アニメ関係者やア
ーティストのアクションなど、多彩
な反戦デモが大きなうねりになり
つつあります。

主張

一方、戦争への不安が広がり、
市民団体などが呼びかけた「平和
憲法を守るための緊急アクション」
に2万4000人など、国会
前での行動には回を重ねることに
人が増えています。全国各地で呼
びかけられています。

「改憲案発議の早期実
現を表明しています。その最大の
ねらいは、戦争放棄と交戦権否認、
武力の不保持を明記した憲法9条
を定めることです。9条はどのほ
ど踏みじられても、トランプ大

「改憲案発議の早期実
現を表明しています。その最大の
ねらいは、戦争放棄と交戦権否認、
武力の不保持を明記した憲法9条
を定めることです。9条はどのほ
ど踏みじられても、トランプ大

そして3月27日、再
び福井駅前でスタンデ
ィングすることを決め
た彼女を「一人にして
はいけない」との会員
の呼びかけに、昨年入
会した次世代会員を含
む7人が集まり、いつ
しよに行動しました
(写真上)。

今回の出来事を通し
て、福井でも確実に次
世代が動き始めている
ことを実感していま
す。県本部には国会行
動に合わせた地域での
とりくみや、ペンライ
トを活用したスタンデ
ィング、SNSの活用
など新しい提案も寄せ
られています。この流
れを大切にしながら、
次世代とともに新しい
活動を広げていきたい
と考えています。
(県本部事務局 藤
岡ひとみ)

〈新連載・月1回〉

学校とジェンダー の現在地



男性性研究/教育実践家
田中めぐみ

京都の男子中高一貫校でジェン
ダー教育も担当する社会科教員で
す。

「学校は男女平等が実現されて
いる場所ですか？」この問いに、
あなたはどのように答えますか？「はい」
と答える人と、「いいえ」と答える
人では、見えている世界が違う
ように感じます。私は「いいえ」
と答えますが、かつては「はい」

と聞いたかったんです。分断した
いのではなく、なぜそう見えてい
るのかを知りたい。対話したい、
と思っています。

制服・校則の見直しや共学化の
進展によって、表面的には「平等」
に近づいているようにも見えます。
しかし教室の中には、今もジ
ェンダーの影響が残っています。
わが家の2歳児が通っていた保
育園の月報に、節分の日のこんな
記録がありました。「自分は涙を
我慢して、泣いている女の子に
“だいじょうぶだよ”と言って、
守っているかっこいいタクト」。
女の子は守られ、男の子は涙を
我慢することが「かっこいい」と
される。その先に何かあるのだら
うか。2人の男の子を育てる者
として、驚きました。

子どもたちは大人の言葉やふる

1 「男女平等に見える」はどこからきたの？

まいを吸収し、ときに自分の感情
や可能性を抑え込んでいきます。
こうした経験をしてきた子ども
たちの意識は、男子校の教室でど
のように立ち現れるのか。授業の中
で対話を重ねると、10代前半の生
徒がすでに「男性ジェンダー」を
生きてきたことを実感します。「毛
虫が苦手と触りたくないと言っ
たら、男らしくないと家族に言わ
れた」「専業主婦は家事が仕事な
のに、なぜ夫に手伝ってほしいの
か」「女性の方が生きづらいと言
われても、よくわからない」「男
は筋肉」…。こうした声から生徒
が考える「男らしさ」の内実が見
えてきます。そして同時に、自分
たちが作る「男子校ノリ」に自
身が苦し

(天江未知・虎岩朋加・前川直哉
・教育科学研究会編著/旬報社/
1800円十税)



「学校の「男性性」を問う」教室の
「あたりまえ」をほぐす理論と実践」

んでいることも見えてきました。
男子校でとりくんだ授業を、共
著『学校の「男性性」を問う』(写
真上)で「男子校でこそ感情の言
語化を」という章で紹介していま
す。こうしたとりくみが、なぜジ
ェンダー平等教育につながるのか
を考えていきます。